

ヘリコプターの屋上緊急離着陸場等の設置指導要領

第1 目的

この要領は、高層建築物及び高次医療機関の建築物の屋上に消防航空活動が可能なスペースの設置を推進することにより、消防活動の有効性と安全性を確保し、当該建築物における防災性能の向上を図るとともに、救急搬送時間の短縮による救命率の向上を図ることを目的とする。

第2 用語の定義

この要領において、次の各号に掲げる用語の意義はそれぞれ当該各号に定めるところによる。

(1) 緊急離着陸場

災害防ぎょ活動に際し、航空法第79条で定めるヘリコプターの離着陸できる場所以外で消防機関等の保有するヘリコプターが離着陸できる要件を備えた建築物の屋上スペースをいう。

(2) 緊急救助用スペース

ホバリング（ヘリコプターが救助や物資供給のため一定の高さの空中で停止することをいう。）により救助活動等を行えるような要件を備えた建築物の屋上スペースをいう。

第3 設置指導対象

設置については、原則として下表のとおりとする。
建築物の高さについては、最高の高さとする。

高さ概ね 45mを超える 防火対象物	高さ概ね 100mを超える 防火対象物	救急救命センター及び 高次医療機関
緊急離着陸場又は 緊急救助用スペース	緊急離着陸場	緊急離着陸場

第4 設置指導に係る留意事項

緊急離着陸場等の設置を指導するにあたっては、次の事項に留意すること。

- (1) 緊急離着陸場は、航空法第81条の2の規定により緊急時の使用を目的とするものであって、屋上ヘリポートとして常時使用する場合にあっては、航空法に基づき国土交通大臣の許可が必要となること。
- (2) 緊急離着陸場等の設置については、相当の費用を要すること及び建築計画に相当の影響をおよぼすことから第3に掲げる設置対象となる建築物に係る建築計画の早期把握に努め、設置指導の時期を失することのないよう配意すること。
- (3) 設置指導にあたっては、当該建築計画の関係者に対して緊急離着陸場等の設置の必

要性について十分な説明を行い、理解と協力を求めて行うこと。

- (4) 第3に掲げる設置指導対象以外の建築物の関係者から緊急離着陸場等の設置したい旨の申し出を受けた時は、この要領に基づき指導すること。
- (5) 緊急離着陸場等の設置によって、火災発生時の屋上への避難を積極的に指導するものではないこと。

第5 設置基準

緊急離着陸場等に係る設置基準（以下「設置基準」という。）は別紙によるものとする。

第6 事務処理

緊急離着陸場等に係る事務処理は、次のとおりとする。

1 事前協議

警防課長（以下「課長」という。）は、第3に掲げる設置対象となる建築計画の事前相談を受けた時は、当該建築計画の関係者に対して緊急離着陸場等の設置を指導するものとする。

2 緊急離着陸場等設置計画書の処理

- (1) 課長は、設置基準及び前項の事前協議結果に基づき関係者に対して緊急離着陸場等の位置、構造及び設備について指導し、関係者が緊急離着陸場等を設置する場合にあっては、設置基準第6に規定する緊急離着陸場等設置計画（以下「設置計画書」という。）を2部提出するよう求めるものとする。
- (2) 課長は、設置計画書の提出を受けた時は、設置基準に適合しているかを審査するとともに、事前協議事項を確認し、支障がないと認めた時は、提出を受けた設置計画書のうち1部を関係者に返却するものとする。

3 完成検査の実施

- (1) 課長は、緊急離着陸場等の工事が完了したときは、前項の設置計画書どおり工事が完了しているかを検査するものとする。
- (2) 課長は、前号の検査の結果、支障があると認める時は関係者に対して支障箇所の是正を求めるものとする。

4 完成検査後の処理

課長は、前項の完成検査を実施し支障なく工事が完了したと認める時は、別記2・3により消防長に報告するものとする。

附 則

この要領は、平成5年3月26日から施行する。

緊急離着陸場検査報告書

No. _____

	検査年月日		検査員	
	立会者		工事施工者	
防火対象物の概要	名称		用途	() 項
	所在地		階数	地上 階 地下 階
	構造		延面積	m ²
	高さ	m	備考	

設備概要

着陸帯	m × m	標識		
着陸帯の床構造		構造耐力	kg	
床こう配	%	進入表面	こう配 /	
転移表面	こう配 /	退避場所	m × m	
退避場所標示	有 無	通話装置	有 無	
夜間照明設備	境界灯	有 無	航空障害灯	有 無
	飛行場灯台	有 無	非常電源	
	点灯方式		配線	
燃料流出防止施設	有 無	脱落・転落防止施設	有 無	
消防用設備等	消火器 本 連結送水管 放水用器具	備考		

検査結果

着陸帯	良 否	退避場所	良 否
通話装置	良 否	夜間照明設備	良 否
燃料流出防止施設	良 否	脱落・転落防止施設	良 否
消防用設備等	良 否	非常電源	良 否
配線		備考	

緊急救助用スペース検査報告書

No. _____

	検査年月日		検査員	
	立会者		工事施工者	
防火対象物の概要	名称		用途	() 項
	所在地		階数	地上 階 地下 階
	構造		延面積	m ²
	高さ	m	備考	

設備概要

スペース	m × m	標識		
床こう配	%	進入表面	こう配 /	
転移表面	こう配 /	退避場所	m × m	
退避場所標示	有 無	通話装置	有 無	
夜間照明設備	境界灯	有 無	航空障害灯	有 無
	飛行場灯台	有 無	非常電源	
	点灯方式		配線	
消防用設備等	消火器	本	脱落・転落防止施設	
	連結送水管 放水用器具		備考	

検査結果

スペース	良 否	退避場所	良 否
通話装置	良 否	夜間照明設備	良 否
非常電源	良 否	配線	良 否
消防用設備等	良 否	脱落・転落防止施設	良 否
備考			